

コロナ社会対応ビジネスモデル創造事業補助金実績報告（公開用）

令和3年2月28日

項目	内容
事業者名	会社名：株式会社 COGNANO 代表者職名・氏名：代表取締役 伊村明浩
補助事業テーマ	超速「新型コロナウイルス検出デバイス」から発信するイマ・ココ情報クラウド化
事業実施期間	令和2年9月18日 ～ 令和3年2月28日
事業の目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 新型コロナ特異的 VHH 抗体ライブラリの樹立</li> <li>② ウィルス検出感度検定</li> <li>③ 検出デバイスの情報アプリ開発</li> <li>④ クラウドセグメンテーション</li> <li>⑤ 課金システムのトライアル</li> </ol>
事業の実績（成果）	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 新型コロナ特異的 VHH 抗体ライブラリの樹立 変異型を含めたスパイクタンパク質に対する高品質 VHH 抗体を 2000 クローン取得した。そのうち優れた 20 クローンを産業用に選別し性能を確定した。</li> <li>② ウィルス検出感度検定 数社の民間企業と共同で研究開発を行い、理論値で 100 コピーの新型コロナウイルスを検出するシステムを開発した。これを 3 箇所の医療機関に提供し現場実証を行なっている。</li> <li>③ 検出デバイスの情報アプリ開発 姉妹会社の株式会社ビオロドスと連携し、4 名のプログラマーによってアンドロイド版新型コロナ情報アプリ試作品が完成している。これによって人体及び環境のウィルスの定量値が情報表示される仕様を確立した。</li> <li>④ クラウドセグメンテーション 個人・事業所・公共向けの運用を想定したセグメンテーションを行い最適化された情報を使用者に提供する必要がある。まずは、介護施設モデルを構築し、ゲートオブメトロポリス (GOM) に委託することにより介護施設での実証試験を 3 月上旬に予定している。(2 月中実施を予定していたが、緊急事態宣言により延期判断となっている)</li> <li>⑤ 課金システムのトライアル 介護施設の安全性検証モデルに対して事業所向けのサブスクリプション課金システムを GOM 社に委託して検討中である。</li> </ol>
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ特異的 VHH 抗体ライブラリの樹立</li> <li>・検出デバイスの情報アプリ開発</li> <li>・クラウドセグメンテーション</li> </ul>

